論文投稿規定

平成 30 年 1 月改定

Ⅰ. 投稿資格

筆頭者，共同研究者は本会員に限る。ただし，共同研究者が非会員の場合 1 名につき 10,000 円を申し受ける。

Ⅱ. 投稿論文の内容

臨床検査，公衆衛生検査に関するもので，他誌または出版物に未発表なものに限る。

Ⅲ. 投稿論文の種類

1）原著

独創的な研究成果で学術的評価が高いもの。10 枚以内（刷上り 8 頁以内）。

2）研究

検査法の追試，改良等の研究に関するもの。7 枚以内（刷上り 5 頁以内）。

3）管理運営および調査資料

臨床検査の管理運営や調査に関するもの。7 枚以内（刷上り 5 頁以内）。

4）試薬と機器

既成のキット，機械，器具，試薬等を検討したもの。7 枚以内（刷上り 5 頁以内）。

5）症例報告

有用な情報を提供する症例に関するもの。7 枚以内（刷上り 5 頁以内）。

6）文献紹介および書評

広く検査に関する国内および海外の文献の要約紹介および書評に関するもの。2 枚以内（刷上り 2 頁以内）。

7）読者のページ

広く医療に関する意見，感想などのほか諸外国の検査技師教育制度，研究所および病院検査室の紹介，留学生活体験などに関するもの。5 枚以内（刷上り 4 頁以内）。

8）工夫，アイデア

日常検査に有用な工夫やアイデアに関するもの。2 枚以内（刷上り 2 頁以内）。

9）支部活動

支部集会に関するもの。2 枚以内（刷上り 2 頁以内）。

★原稿は，1 枚 1,200 字（40 字×30 行）とする。

★上記原稿枚数には，図表，文献を含む。

★規定の枚数を超えたものに関しては，超過料金を申し受ける。

Ⅳ. 執筆要領

1）原稿には表紙を付け，表題，著者名，所属，所在地，別刷り請求先，著者連絡先，表および図の点数を書き，著者負担分の別刷りを必要とされる方は請求部数（単位 50 部）を記載する。すべての原稿は，表紙から順に通し番号をつける。

2）原著については，表題，著者名，所属，所在地，別刷り請求先を和文と英文で併記する。さらに，英文 summary（200words 以内）と和文の要旨（400 字以内）を添付し，キーワードは 5 語以内で，和文と欧文で併記する。

3）改行する場合は必ず改行を入力し，新しい行のはじめは全角（1 コマ）あける。句読点は「,」「。」を使用する。専門用語以外は常用漢字，現代かなづかい，数字は算用数字とする。なお，数字，欧文は半角文字とする。

また，菌名などはイタリック体で表記する。

4）本文中の大見出しには，Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ…を使い，前文間を 1 行あける。必要であれば，中見出し以下 1.，2.，3.…，1），2），3）…，ⅰ），ⅱ），ⅲ）…の順で使用する。

5）本文中頻回に記述される語句については，初回に母体となる用語を記述した後その略語を括弧内に記入し，以後その略語を用いる。

6）度量衡の単位は，原則として SI 単位を用いる。

7）表，図，写真については，表 1，図 1，写真 1 のように別個に番号を付し，A4 判用紙に 1 枚ずつ個別に書き，図のキャプションは別紙にまとめて付す。また，本文中欄外には，表，図，写真の差し入れる箇所を朱書きで明記する。

また，表，図の他からの引用は出典を明らかに

Presented by Medical*Online

し，転載許可を著者責任で得ておく。

8）本文中の引用文献番号は，右肩づけとし，引用順に番号をつける。

9）引用文献の記載順序は，本文中の引用順とし本文中の引用箇所に番号を付す。引用文献の記載は下記の通りとし原稿の末尾にまとめて添付する。

［雑誌の場合］

著者名：表題名．雑誌名（略語），巻数（号）：始頁－終頁，発行年

［単行本の場合］

著者名：表題名．書名，始頁－終頁，発行所，発行地，発行年

★著者名は，筆頭者のみとし，和文文献の引用には姓名を明記する。和文以外の文献の引用ではファミリーネームを記し，次にパーソナルネームはイニシャルを明記する。共同発表，共著の場合には“ほか”，“*et al.*”とする。

10）提出原稿は，原則としてテキストデータを使用し，明朝体またはゴシック体を用いる。本文は，A4 判 40 字×30 行の横書き文章でフォントサイズは 12 ポイント位を使用し印刷したものを提出する。

Ⅴ．原稿の審査

1）投稿原稿の採否は，査読結果に従って編集委員会において決定する。

2）結果により原稿，図，表の加筆訂正を求める場合もある。

Ⅵ．著者校正

原稿の初校は著者校正とし，再校以降は，編集委員会において行う。校正時の原稿への加筆訂正は，原則として認めない。

Ⅶ．原稿採用決定時のデータ提出

編集委員会で採用が決定すれば，原稿の収載されたデータの提出を求める。なお，データ保存形式は，原則としてテキストファイル（.TXT）とする。図，表，写真についても，使用したソフト名を記載し提出すること。しかし，印刷時に対応ができないソフトの場合は提出原稿の使用またはトレースを行うことがある。

Ⅷ．別刷り

別刷りは，原著，研究，管理運営および調査資料に関してのみ投稿時に申込むことにより 50 部まで無料で贈呈する。

50 部以上の請求は，50 部単位で増刷しその実費（送料を含む）を著者が負担する。

Ⅸ．原稿の送付

1）原稿はオリジナルとコピーの 2 部（図，表，写真を含む）を送付する。

2）投稿原稿は原則として返却しない。

原稿送付先
〒102-7703
東京都千代田区九段北 4 丁目 1 番 5 号
市ヶ谷法曹ビル　405 号
公益社団法人　東京都臨床検査技師会
会誌編集部　宛
（封筒の表には「会誌投稿原稿」と朱書きする）

Ⅹ．著作権および引用・転載

1）本誌に掲載された論文の著作権は（公社）東京都臨床検査技師会に帰属する。

2）投稿論文執筆に際して他著作物等から引用・転載する場合は，原著者および出版社の許諾を受け，原稿に出典を明示すること。

Presented by Medical*Online

「東京都医学検査」原稿作成の決まり

都臨技編集部

Ⅰ. 用語

1. 新字と旧字

膣，頚，渣（医療用語として左記を用いる。）

固有名詞は旧字のままでよい。

例）藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院など。

2. 単位

mL, μL など。L は大文字。

マイクロは立体のμで表す。ミューはギリシャ文字（斜体）のμで表す。

3. イタリック体表記

菌，カビ，酵母の学術名とラテン語，in situ も斜体（イタリック）で表記する。

例）*Escherichia* sp.

単数を表す『sp.』，複数を表す『spp.』は菌名ではないのでイタリック体にしない。

例）*Salmonella enteric* serovar Typhi

Typhi は種ではなく血清型を表したものなので，イタリック体にせず，頭の文字も大文字にする。

4. よく使う語

1）副詞

まず，いったん，いっそう，ほとんど，わずか，あらかじめ，いずれ，なお，すべて，まったく，あわせて，きわめて，まだ，ついに，なぜ，いかに，さらに，とくに，ともに，もっとも，たとえば，たびたび，あるいは，いわゆる，もしくは，なんら，すでに，初めに，次いで，主に，だいたい，いっさい，ぜひ，ふつう，さすが，およそ，たいてい

2）接続詞・連体詞

および（注：及ぼす），または，ただし，したがって（注：従う），ゆえに，しかも，さらに，なお，ならびに，かつ，ところで，それとも

3）名詞

～するうえで，～につき，～のとおり，～のように，～したために，～のほか（注：その他），いまでは，～したこと，様々，我が国，私たち，皆さま，我々，コンピュータ，サーバ，1ヶ月，2階（Fは使用しない）

4）動詞・助動詞・形容詞

行う，表す，まとめる，分かる，～することができる，ください，いたします，いただきます，申し上げます，～にみられるように（注：～を見る），～とよぶ，～をはじめに（注：～し始める，初めて～する），ごとく，～したことがない，～ない，しがたい，しやすい，してよい，やさしい<易>，難しい，するようだ，ください

5）助詞

ぐらい，など，まで，ほど

6）その他　当て字

その，それぞれ，おのおの，～において，など，～につき，はやり，たくさん，かかわらず，ありがとう

5. 記号

㈱㈳㈶…予定表・議案書，論文の表中，議事録の本文。

（株）（社）（財）…要旨・記録の肩書きと本文，論文の本文。

株式会社…特集，シリーズ，投稿論文の肩書き。

基本的に病院名などは「○○法人○○会　○○病院」と書き，省略不可。ただし，○○法人○○会の省略を認めることもある。

6. その他

1つ，2つ，3つ（1人，2人…）

Presented by Medical*Online